

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

昭和北中学校区 校番25 学校名 呉市立昭和北小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・現状と課題を踏まえた目標になっていると思う。 ・前回と評価が変わらないものもあるが、実態を表す指標が選択されているからだと考える。学校全体を表す指標なので、変容が見えるのに時間を要する可能性があるが、結果だけでなく、プロセス指標も確認するとよいと感じる。頑張っていることが「見える化」され、反省に役立つ。 ・体力テストで課題のあった種目については、平均(50%)から目標にしてはどうか。
目標達成のための方策の適切さ	A	・概ね適切だと思う。 ・ICTの活用、生徒指導の三機能、防災教育、運動能力向上など、各々の方策が明確に設定され、子供たちにも定着してきているのが分かる。 ・経営理念を実現できる方策となっているので、今後更なるブラッシュアップを求める。 ・上半期の「今後の改善策」が下半期の具体的な方策に反映される状況が確認できると、より効果的な活動になると思う。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・結果に対する課題が丁寧に分析されている。 ・教職員状況の影響も分析してみると、新しい改善策が見つかるかもしれない。 ・WebQUの分析はあくまで参考とし、一人一人と生身で向き合ってほしい。 ・業務改善の結果がよくなっている。近い将来、過度な業務が解消され、タイムマネジメントの意識が高まった後に意味のある残業を奨励することも必要になると思う。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・WebQUを基にした細やかな支援に期待する。 ・笑顔貯金の取組の認知や継続、体力向上に取り組んでいってほしい。 ・全職員で協働しながら取り組むことが重要である。働き方改革にもつながる。 ・次年度目標・方策の設定(変更)を意識した改善策が考えられるとよりよいと思う。 ・児童に向き合い、成長させたいという思いが伝わる。そのための具体的なアイデアを考えるよい時期なので、明文化しておくといよい。組織に変化があった場合も継続性が期待できる。
その他		・教職員が熱心に教育に取り組まれていることに毎回感銘を受ける。 ・地域、民生委員活動での朝の声掛けや下校時の防犯パトロールの際には、児童が明るく元気に挨拶をする姿が見られる。元気をもらっている。 ・今後もPDCAを丁寧に回してスパイラルでアップしていくことを期待する。 ・マスクを外して授業をする教員が増えた。表情がよく見えて安心できる。感染症や花粉症もあるので無理のない範囲でお願いしたい。 ・電灯が消えている教室があった。児童の視力に影響するため、速やかに対処してほしい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・目標値を大幅に達成できなかった項目があった。基礎的・基本的な学力の定着を図るために、授業や朝の励みタイム、家庭学習などでQubena(キュービナ)を効果的に活用し全校で取り組んでいく。また、児童が既習事項を活用して考え表現する力を高められるような授業改善を図る。体力・運動能力向上については、体育科の授業力の向上を図るとともに、「北っ子エクササイズ」など今後も手軽にできる運動を習慣化させ、児童が運動したいという意欲も高められるようにしたい。 ・児童の自己指導能力を育成するために、一人一人の児童理解に努め、全職員で共有しながら指導や支援を図る。 ・目標値を達成した項目においても、具体的に何に取り組むのかを明確にし、全職員で協働して取り組めるようにしていきたい。 ・学校全体としては、働き方改革の意識が高まってきた。今後も全職員が意識して守るようにしていくとともに、教職員の意見に耳を傾けながら校務内容や会議、行事、日程等を精選していく。外部人材を活用し、活気ある教育活動を進める。
--------------------	--